

2022年10月5日

報道関係 各位

株式会社イオンファンタジー

## サステナビリティ方針の実現に向けた「目標・取り組み」を策定

“えがお”あふれる世界の実現へ、持続的な社会と事業成長の両立を目指します

株式会社イオンファンタジー（本社：千葉県千葉市、代表取締役社長：藤原徳也、以下、当社）は、今年4月に制定した「サステナビリティ方針」の実現へ向け、「目標・取り組み」を決定しました。今後、持続的な社会と事業成長の両立を目指し、企業活動の中核としてサステナビリティ経営を進めてまいります。

### 【サステナビリティ方針実現に向けた 目標・取り組み】

	マテリアリティ	長期目標(2050・2040年)	中期目標(2030年)	取り組み
E	気候変動への対応	定量目標 2040年 店舗で排出するCO <sub>2</sub> 等の総量ゼロを目指します 定性目標 未来の子どもたちのために「あたりまえ」を見直し、地球とみんなが“えがお”になる社会	事業におけるエネルギー由来のCO <sub>2</sub> 排出量30%減(2018年比) ※単位は売上高あたり	遊戯機械における照明のLED化 ライトダウンキャンペーンの実施 環境についてあそび・まなびができる遊戯機械・遊具の開発 TCFD提言に沿った戦略策定・情報開示
		循環型社会への取り組み	「ゴミ減らそ!もっ回使える?再生しよう!」をみんなで育む社会	店舗で廃棄されるプラスチック*総量30%削減(2019年度比) ※主要5種 店舗で不要になった遊戯機械の廃棄率10%未満 遊戯機械のリサイクル率の向上
S	子どもたちの未来への貢献	未来の社会を作る子どもたちの権利を守り、一人でも多く“えがお”で、未来を夢見て生きられる社会	子どもたちの“えがお”をひろげる新たな機会の創出	「安全・安心」にあそべる店舗・遊戯機械・遊具の拡大 一人でも多くの子どもにあそび・まなびを届ける事業の推進 社会課題についてあそび・まなびができる機会づくり お客さまとともに、子どもの権利を守る活動を支援
	従業員がいいききと働ける組織づくり	すべてのファンタジーピープルが仕事もあそびも夢中になれる会社	<ul style="list-style-type: none"> <li>国内外女性課長職以上比率50%</li> <li>障がい者雇用率5%</li> <li>男性育児休暇取得率100%</li> </ul> ファンタジーピープルいいきき度75% ※いいきき度＝サーベイ項目のうち、「働きがい」「働きやすさ」に関する項目の平均肯定回答率	ダイバーシティの推進(多様な価値観を活かすための教育・お互いを知る場づくり) 働き方の改革 サーベイの実施と、改善に向けた取り組み
	地域社会とのコミュニケーションの深化	たのしさとふれあいの場の提供を通じて、“えがお”あふれる地域社会	国内外店舗での社会貢献活動のべ累計実施回数12,000回	社会福祉施設への訪問 社会福祉施設のご招待会の実施 地域の子どもたちのお店づくり
G	コーポレート・ガバナンスの強化	ステークホルダーと信頼を築き、ファンタジーピープルを守り、持続的成長できる会社		コーポレートガバナンスコードの実践体制の強化 コンプライアンス研修の実施(国内・海外) 海外子会社のガバナンスの強化 人権デュー・デリジェンスの実施

※国内外表記以外は、国内事業のみの目標・取り組み

## ■ 「目標・取り組み内容」策定に向けて（サステナビリティ推進体制の設置と実行）

- ① 「サステナビリティ委員会」を取締役会諮問機関として設置し取締役会へ答申  
サステナビリティ委員会は、代表取締役社長を委員長として委員の3分の1以上を社外の有識者から選任しています。  
2022年度は「目標・取り組み」決定に向けて5月と7月の2回開催し、下部組織である「サステナビリティ倶楽部」からの提案を議論し、取締役会へ答申しました。
- ② 「サステナビリティ委員会」の下部組織として検討・実行を進める部署横断型組織「サステナビリティ倶楽部」を設置し提案  
当社のマテリアリティごとに、具体的取り組み内容の検討・実行を目的として部署横断型チーム「サステナビリティ倶楽部」を設置。  
次世代を担う人材をリーダーとして執行役員を含む約50名の体制で活動することでサステナビリティ経営の実行性を高めます。

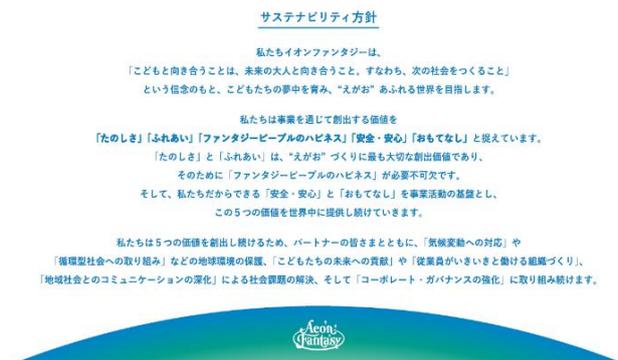
**取り組み：「TCFD 提言」に沿った戦略策定・情報開示 ～炭素社会の実現による、社会と事業の持続的成長へ～**



当社のマテリアリティの1つである「気候変動への対応」の取り組みの一環として、2022年9月1日にTCFD（気候関連財務情報開示タスクフォース）へ賛同を表明し、情報開示を行いました。

気候変動に伴う自然災害や異常気象の増加等により、当社の店舗が物理的被害を受けるなど、事業運営に影響を受ける可能性があります。一方で、これらのリスクに真摯に向き合い対応を進めることは、新たな事業拡大の機会と捉えることもできます。当社は、持続可能な社会と事業成長の両立を目指し、TCFD 提言に沿ったリスクと機会の分析を実施し、情報開示を行いました。今後も、さらなる開示情報の充実に努めていきます。

▶参照：[https://www.fantasy.co.jp/company/wp-content/uploads/2022/10/annualreport2022\\_tcf.pdf](https://www.fantasy.co.jp/company/wp-content/uploads/2022/10/annualreport2022_tcf.pdf)



以上

### 【報道関係連絡先】

広報・IR室：圓藤（えんどう）、山本、飯沼

TEL：043-212-6188 公式HP：<https://www.fantasy.co.jp/>